2023年度　教育施設（結果）

PLAN（計画）	DO（実施）		CHECK（評価）		ACITON（次への改善）
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況（実施率）	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。 評価	評価の理由/課題/根拠データ等	A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
①安全対策として、本郷キャンパス仁愛ホール天井落下工事および、B館外壁調査、ふじみ野キャンパス西館2号館の階段裏剥落下防止対策工事を実施する。	①本郷キャンパス仁愛ホール天井落下防止対策及びB館外壁調査、西2号館及び、4号館階段裏剥離落下防止対策を実施した。	100%	①中長期的に策定されたキャンパス整備基本デザインの計画の枠組みで進められ、安全対策は計画通りに実施された。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	①「改訂キャンパス整備基本デザイン」に基づき、目標達成に向けて順次整備を進める。
②教育向上のため、本郷キャンパスS館5教室およびB館ウィングホール、仁愛ホール、ふじみ野キャンパス中央館3教室、西館4教室等の視聴覚更新工事を実施する。	②本郷キャンパスB館ウィングホール視聴覚設備更新及び仁愛ホール音響設備更新工事、ふじみ野キャンパス東館1教室及び、西館5教室視聴覚設備更新工事を実施した。	75%	②教育環境における視聴覚更新工事により教育の向上が図られた。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	②キャンパス間の格差を無くした教育環境整備がさらに求められる。
③本郷キャンパス仁愛ホール客席照明、舞台照明のLED化工事を、さらに研究環境向上のために本郷キャンパス共同研究室棟研究室および実験室で実施する。また、本郷キャンパス仁愛ホール、B館ロスナイ室内機ファンモーター更新工事を実施して省エネルギー化を図る。	③本郷キャンパス仁愛ホール舞台照明、仁愛ホール客席照明及び、共同研究棟において研究室及び実験室の天井照明LED化への更新工事を実施した。 また、ふじみ野キャンパス東館5研究室、2演習室及び、西館1ゼミ室、4自習室について空調機更新を実施した。	100%	③予定されていたLED化工事はかなりの割合で実施され、エコキャンパス化による教育環境の整備は、ほぼ計画通りにおこなわれた。	2023年度学校法人文京学院事業計画書	③エネルギー効率の良いキャンパス環境の整備の実現のため、未整備の教室及び研究室の照明LED化・空調設備工事計画が求められる。
④情報教育設備更新を両キャンパスの合同事業として実施し、統合されたシステムとして適切な環境構築、情報教室のコンピュータのリプレイスを実施する。また、コロナによって得た新たなICT活用の意識に根ざした活用環境であるBYODに適合した取り組みなど、新しい環境に適合する様に継続的に対応する。	④本郷キャンパスでは、学生がノートパソコン利用のためのネットワーク状況の問題を整理した。ふじみ野キャンパスでは、無線LANのアクセスポイントを増やした。また、両キャンパスの情報処理教室の機器更新と情報教育設備の統合・共通化を進めると同時に、在宅学修にも対応するように整備を実施した。	100%	④中長期計画のICT教育等学修支援態勢の充実に基づいて、環境整備が行われた。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	④両キャンパスの情報教育設備の統合・共有化が進み学生がキャンパス内、あるいは在宅でも教育サービスを受けられる環境が整備された。
⑤機関リポジトリのサービスを導入し、本学によりよく合致する運用方法の検討を実施する。検討の過程にて、オープンアクセスによる研究成果の公開の重要性について等の学内啓蒙を実施する。また、公式Webサイトのリニューアルに合わせ、データベース等が利用しやすいよう利便性向上に務める。	⑤機関リポジトリの構築して、本学の研究成果物のアーカイブ保存する作業、EZproxy経由での本学契約データベースの学外利用サービスの利便性を高めるためのホームページ更新、電子書籍購入の強化、電子図書館化への対応を進める。	100%	⑤中長期計画の機関リポジトリ構築や電子図書館化の整備途中である。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	⑤機関リポジトリ構築および電子図書館化は、さらに機能性・利便性の向上が必要となる。
⑥専門職大学院の設置申請のために、大学院研究室、教員共同研究室用の備品および電源・LAN配線工事を実施する。	⑥専門職大学院の教室・研究に対応するよう、LANなどの情報環境の整備を行った。	100%	⑥設置計画に基づいて教室整備がなされた。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	⑥大学院新研究科の運用開始に合わせて整備され、使用する中で整備・改修が必要となる。
⑦科研費システムの支援業務の新年度からの運用開始と調整を実施する。	⑦科研費システムDr.Dudgetの完全運 と安定的使用のための支援を実施した。	100%	⑦Dr.Budgetの完全運用と支援体制が構築された。	2023年度学校法人文京学院事業報告書	⑦科研費システムの運用・支援は使用する中で改修が求められる。

2024年度　教育施設

PLAN（計画）
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
①安全対策として、本郷キャンパスC館外装等改修工事およびD館外壁調査を実施する。また、施設整備として、本郷キャンパスD館屋上チラーユニット分解整備およびB館雑用水加圧給水ユニットの更新、ふじみ野キャンパス中央間ベントハウスの屋根防水保護塗装工事を実施する。
②省エネルギー対策として、本郷キャンパスS館研究室他の天井照明、ふじみ野キャンパスw302舞台証明のLED化を実施する。また、本郷キャンパスまちラボ空調調節、ふじみ野キャンパス東館情報教育演習室の換気扇増設工事、体育館空調機設置および電源工事を実施し、エネルギー消費性能の向上をはかる。
③視聴覚設備については、本郷キャンパスS館3教室、ふじみ野キャンパス西館3教室で更新を実施し、教育力向上をはかる。
④個人保有のPC使用に対して、教室のBYOD（Bring Your Own Device）対応への転換による環境整備を実施する。
⑤図書館として、機関リポジトリの構築と、電子図書館化への対応を継続する。
⑥学院創立100周年にむけて、本郷キャンパスS館に展示スペース、D館に新文明の旅関連展示スペースを設置する。